

会話性 2

会話性を高めるためのポイント（高い他の尺度による好影響）

交流性の高さ

- 人と一緒にいることを楽しむ傾向
- おしゃべりによるストレス発散
- 一人であることへの不安感
- 常に誰かと話したいという強い欲求

幸福性の高さ

- 躊躇なく思ったことを話す
- 自分の言動が受け入れられるという信念
- 前向きさによる楽しい会話の実現

融和性の高さ

- 新しい体験への強い興味
- 最新情報や便利グッズへの関心
- 興味の広がり話題にする

開示性の高さ

- 家族や友人に関する情報共有欲求
- 他人の話を自分の経験に結びつける傾向

創造性の高さ

- 豊富な知識と情報に基づく発言
- 話題への意見・アイデアの発信
- 自分の知識や意見を共有したい思い
- 多様な話題提供能力

会話が困難な人の特徴

交流性、幸福性、融和性の低さ

会話性の低さの要因

- 他人との対話に対する苦痛感
- 日常会話の困難さ
- 引きこもり傾向との関連性

会話性の高さ×他の尺度の低さによる現象

交流性の低さ

- 一方的な会話スタイル
- 会話後の急な離脱行動
- 周囲との違和感の発生

表出性の低さ

- 心の内面が見えにくい印象
- 周囲からの不気味さの感覚
- 自己認識と他者認識のギャップ

開示性の低さ

- 自己開示の回避
- 表面的な会話に終始
- 親密な関係構築の困難さ

幸福性の低さ

心配症傾向

- 会話後の後悔
- 自己批判的な態度
- 過度な自己反省
- 周囲の認識とのギャップ

嫌われる会話の特徴

尊重性の低さ

相手が会話の継続意欲を喪失

- 自己主張の強さ
- 相手への圧力
- 他人への批判的態度

開示性の過度の高さ

周囲からの嫌悪感

- 自己中心的な会話
- 他人の話を自分の話に変える傾向
- 止まらない会話の流れ

感受性の低さ

周囲からの忌避感

- 興味関心の狭さ
- 限られた話題
- 偏った会話内容